

2025 年 3 月

お客さま各位

アセットマネジメント One 株式会社

米国拠点の債券運用体制変更に伴う約款変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度弊社では 2025 年 4 月 1 日より、米国拠点である「アセットマネジメント One USA Inc. (以下、「AM-One USA」といいます。)」における債券運用体制の変更に伴い、下記の対象ファンドにつきまして信託約款の変更を行い、一部ファンドについては目論見書の記載内容の変更を予定しておりますので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本変更により対象ファンドの運用の基本方針等につきまして一切の変更はなく、受益者のみなさまへ特段のお手続きを求めるものではございません。

今後とも対象ファンドをお引き立ていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象ファンド

- ・ DIAM新興資源国債券ファンド(愛称:ラッキークローバー)
- ・ Oneグローバル・ターゲット利回り投資適格債券ファンド2023-12(限定追加型)
(愛称:イールドOne2023-12)

2. 変更予定日

2025 年 4 月 1 日

3. 変更内容・理由

今般の変更は、東京本社へのクレジット運用機能の集約を主眼とするものです。AM-One USA が担当していたドル建ておよび中南米現地通貨建てエマージング国債、米ドル建て社債(除く、新規発行社債関連業務)のリサーチ・運用機能を東京本社に集約いたします。

従前の体制では、米国現地でリサーチ・運用をすることによる即応性等のメリットを発揮しやすかった反面、AM-One USA と東京本社との間で情報や判断を共有しシナジーを発揮する点については課題もございました。今般、AM-One USA のファンドマネジャーによる情報収集やオンラインを活用した取材などで即応性をカバーしつつ、運用機能を東京本社に集約し、国内外・欧米間のクレジットに関する情報と知見を総合的に判断する体制を構築することで、運用のクオリティを高めていくことを目指して参ります。

4. 交付目論見書における主な変更点

<変更前>

(ファンドの特色)

- ※ 運用にあたっては、アセットマネジメント One U.S.A.・インクに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

(運用管理費用)

- ※ 委託会社の信託報酬には、当ファンドの運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(アセットマネジメント One U.S.A.・インク)に対する報酬(当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率 0.14%)が含まれます。

<変更後>

(ファンドの特色)(運用管理費用)

上記の記載を削除

注:「Oneグローバル・ターゲット利回り投資適格債券ファンド2023-12(限定追加型)」については、既に募集を終了しておりますので、目論見書はございません。

以上